

新中部協同病院へ期待する



「心機一転」

こんにちは、中部協同病院階病棟師長の玉城です。
五階病棟は、三十四床の地域包括ケア病棟ですが、現在は旧中頭病院の元産婦人科病棟を使用しており、障害者用トイレや介助用シャワールームが無く、使い勝手が悪いため患者様にも色々ご迷惑をおかけしています。
十二月移転予定の新病院は、個室二十室・四人部屋七室に、各部屋の近くに七つの「車いすでも入れるトイレ」と、「広いシャワールーム」も出来る予定です。患者様にはストレスの少ない入院生活が提供できると思います。
一日も早い新病院の完成と心機一転、新しい環境で働けることを今から心待ちにしています。
新病院建設に向けて、職員の定期増資増やし、組合員訪問や入院患者様へ組合員加入の呼びかけなどの活動を今後も行っていく予定です。引き続き、地域組合員さんのご協力もお願いいたします。

中部協同病院 五階病棟師長 玉城和美

「部署一丸」

二〇一七年一月に沖縄市知花に移転して早二年が経ちました。慣れない環境と設備不備も多々あり毎日忙しい日々。四階病棟スタッフは奮闘しています。療養環境をよりよくするため病棟デイを開催し患者の身体面、精神面へのサポートをコ・メディカルと共に進めています。新病院建設に向けて、部署一丸となって医療生協組合員の加入・増資に取り組んでいます。部署目標に掲げ毎月、業務内で担当を割り当てて仲間増やしに取り組み、加入に関して目標達成目前です。また、増資に関しては職員の定期増資の声かけと増資金額の引き上げを行いました。さらに、入院患者利用率アップも目指し増資の声かけも割り当てて行っています。また、地域の組合員宅へ訪問し新中部病院建設について周知を行いました。

二〇一九年十二月の新中部協同病院開設に向けて、病棟は個室やトイレの数も増え新しく整った設備となり患者個々の声に応えられることと思います。また、リハビリ訓練や療養環境を快適に過ごしながら患者がセルフケアを目指せるよう支援していきたいと思っています。

中部協同病院 四階病棟師長 伊佐ときみ



勝連城跡は、阿麻和利（あまわり）が居城した城として伝えられ、沖縄の城の中でも最も古く、十二世紀頃と伝えられています。
現在の規模になったのは十四世紀頃で、阿麻和利は護佐丸を滅ぼし、さらに琉球統一を目指し、国王の居城である首里城を攻めましたが落城し滅びたそうです。
勝連城址は小高い山の上にあるので、南は中城湾、東は海中道路が見え景色は最高です。
四つの平坦地を階段状に配置した梯郭式（ていかくしき）と呼ばれる様式の城です。自然の地形を巧みに利用しながら城壁をめぐらせ、切り立った断崖の際にまで石垣を積み上げています。それぞれの役割の異なる4つの区画で構成されており、一番高い場所にあるのが一の曲輪（くるわ）城の内外を土塁、石垣、堀などで区画した区城）その下に二の曲輪、三の曲輪、四の曲輪と続きます。
勝連城は瓦ぶきの建物でしたが、当時の沖縄で瓦ぶきが備わっていたのは中山王の浦添城と首里城、富裕層の住む久米村、そして勝連城しかなかったようです。
うるま市絶景の世界遺産勝連城址跡をぜひ、お訪ねください。

中部協同病院 事務長 嘉数浩明

沖縄再発見！グスク巡り特集

勝連城跡

うるま・中部ブロック新春のつどい

- 沖縄市東南支部 2月3日（日）9時 新春ピクニック
- うるま具志川北支部 2月10日（日）17時 うるみん
- 宜野湾支部 2月16日（土）14時 宜野湾市社会福祉センター
- 読谷支部 2月17日（日）13時 読谷村文化センター
- 石川支部 2月17日（日）15時 石川部落事務所

皮膚科・泌尿器科の体制が変更になります

	月	火	水	木	金	土
午前	皮膚科	皮膚科	皮膚科	皮膚科		泌尿器科 第2・4
午後	皮膚科					

高倉の前を通り、高い階段を登り、きると松林の中を緩やかな坂が伸び、その先にパッと明るく開けた空の下に古城が静かに座っている。城門の手前あまり目立たない説明板があり、次のように記されている。

座喜味城は、十五世紀の初頭の建築家としても名高い護佐丸によって築かれたといわれる。護佐丸は当初北東約四キロにある山田グスクに居城していたが、一四一六年（一四二二年の説もあり）中山尚巴志の北山城攻略も参戦、北山政略後は戦後処理のため一時北山城にとどまったといわれ、その間に座喜味の地へ築城を開始したという。城跡は座喜味部落北側の小高い丘、標高一二〇メートル余の名護層からなる台地を石灰岩の切石積で取り囲んで築かれており、城は二つの郭からなる連郭式の形態になっている。城郭内の面積は約四〇一三・五一メートルで、沖縄のグスクとしては中規模である。



曲線状の城壁

この城には一の郭と二の郭にアーチの門がそれぞれ一つずつ造られているがアーチの石のかみ合う部分、門の表と裏両面にクサビ石がはめられており、他のグスク等には類例がみられない。このことから座喜味城のアーチ石門が現存するアーチの沖縄で最古のものと見られている。城跡は第二次世界大戦において、一の郭内に日本軍の高射砲陣地が築かれ、戦後も米軍のレーダー基地が建設されたが、整備の始まった翌年返還された。城壁は一九八二年に修復を完了した。城壁の上に立つと首里、那覇をはじめ本島西側本郭半島や東支那海に浮かぶ慶良間諸島・久米島・伊江島・伊平屋諸島が眺望できる要害の地にある。

それから民俗資料館、博物館、美術館の機能をもつ、ユンタンザミュージアムが今年の六月二三日にオープンした。同時に見学することをおすすめします。

沖縄医療生活協同組合理事 知花盛考



座喜味城跡の石積

近年、インフルエンザの罹患者は通年的に見られるようになってきました。インフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、喉痛み、咳、鼻水などもみられます。普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのもインフルエンザの特徴でもあります。当院では、インフルエンザワクチン予防接種を下記の通り実施していますので、早めの予防接種を受けて頂きますようご案内申し上げます。

インフルエンザ予防接種のお知らせ



接種期間：2018年10月1日～2019年2月28日
 ※救急診療時間、土曜日午後、日曜日・祝祭日の予防接種は対応しておりません。
 接種料金：3,110円（組合員）、3,880円（非組合員）、2,592円（当院入院・透析患者様、通所リハビリ利用者様）
 ※65歳以上、65歳未満の身体障害者1級の方は、1,000円または無料で接種可能です（各自治体により異なります）。
 対象年齢：高校生以上（小児科医不在の為、中学生以下の接種はできません）。

本格的に動き出す！“新中部協同病院建設”“吉原公園造成工事”

「新中部協同病院はいつできるのか？」「吉原公園はどうなっているの？」と組合員さん、地域の方よりよく聞かれます。病院建設工事をスタートするまでに遅れを取りましたが、新中部協同病院建設工事、吉原公園造成工事は順調に進んでいます。現在急ピッチで両方の工事を進めているところです。特に気になる新中部協同病院の工程をお知らせします。現在1階部分の外枠工事がほぼ完了し、12月より2階部分の外枠工事に入ります。順に内外装工事を行いながら毎月1階ずつ階が上がっていきます。このような工程を2019年10月まで行い10月15日を竣工の日としています。その後は保健所の検査、引越などもあり最終的に新中部協同病院として開院する日は2019年12月2日（月）を予定しています。また新吉原公園は10月より工事が始まり2019年3月末の完成で工事を進めています。



新中部協同病院建設中！



吉原公園完成予定地

全体的に解決しなくてはならない課題があり、当初予定より1年遅れの完成になりますが、これからは1日でも早く、確実に病院建設を進め、



※当院は12月30日（日）～1月3日（木）の間は年末年始のお休みにつき、一般外来診療を休診、9時～24時まで救急受付での対応となります。何卒ご了承ください。